

教育方針から



2月27日、平成29年第1回津市議会定例会の開会に当たり、庄山昭子教育委員会委員長が教育方針を述べました。今号では、その主な内容を掲載します。なお、教育方針の全文は、津市ホームページでご覧いただけます。

津市 教育方針



教育方針を述べる庄山昭子委員長

教育大綱の策定

市長と教育委員会がそれぞれの権限を組み合わせ、一緒になって子どもたちの未来を考える「津市総合教育会議」は、平成27年4月1日の第1回の開催以来、さまざまな教育課題の協議を重ね、平成29年1月6日に津市の教育大綱が策定されました。この大綱の中では3つの着眼点が表示されています。

教育大綱 3つの着眼点

- 1 教員が子どもたちと向き合う時間の確保
- 2 組織的・機動的な学校経営
- 3 まち全体で子どもたちを支援する教育環境の整備

1 教員が子どもたちと向き合う時間の確保

- 教員が協力して策定した「津市版授業改善マニュアル」や「津市版家庭学習マニュアル」を活用して、積極的な授業改善と学習習慣づくりに取り組み、授業力の向上を図ります。
- 特別支援教育支援員9人の増員に加えて、幼稚

園や学校が子どもたちへの理解や指導の方法について気軽に相談ができるよう教育相談員を2人増員し、学校現場へ派遣するとともに、授業中の児童生徒への支援の充実を図ります。

- 「津市部活動指針」を策定し、中学校部活動の休養日を設定するとともに、土曜日の教育活動を各校の実情に応じて柔軟に実施できるよう見直します。
- 県内初の義務教育学校みさとの丘学園の運営を着実に進めるとともに、全ての中学校区で推進する小中一貫教育の進め方を工夫し、子どもたち一人一人が学びを実感できる授業づくりに努めます。



義務教育学校みさとの丘学園

- これからの小学校高学年における英語教育の教科化に対応していくため、新たに創設する英語教育推進指導員を学校現場に派遣するとともに、小学校教員を対象にした研修体制の構築や現行のALTの最大限の活用など、効果的な支援に努めます。
- 道徳の教科化に向けて、道徳の時間の充実や人権教育と道徳教育の関連を踏まえた横断的なカリキュラムの構成を例示し、研修指導を進めます。
- これらの取り組みを進める教員の時間を創出するため、人的支援の充実とともに、全ての小中学校に「統合型校務支援システム」を導入します。